MITSUBISHI

三菱液晶ディスプレイ

Diamondcrysta WIDE

RDT223WM/RDT223WM-S シリーズ

(AN765)

取扱説明書

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

P2 もくじ

P3 ご使用の前に

P5 安全上の注意

P10 各部のはたらき

P12 使用の準備

P27 機能

P40 困ったとき

P47 付録

■ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
■ 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
■ 「セットアップガイド」は「保証書」・「ユーティリティーディスク」と共に大切に保管してください。
■ 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。→P6,14,49頁参照
■ この取扱説明文書内のURLはクリックするとWebサイトへリンクします。

製品登録のご案内

三菱電機では、Webサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

インターネットホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意：法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。（画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。）

www.pc-eco.jp

もくじ

ご使用の前に

ご使用の前に…… 3
何ができるの？…… 3
付属品の確認…… 4
本書の見かた…… 4

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください…… 5
警告・注意…… 5
使用上のお願い…… 8
ディスプレイの上手な使い方…… 8

各部のはたらき

各部のはたらき……10
本体正面……10
本体背面……11

使用の準備

使用するための流れ……12
[準備1] ディスプレイを組立てる…… 13
スタンドを組立てる……13
完成したスタンドを本体に取り付ける·13
ブロックネックスタンドの特長…… 14
[準備2] スタンドの後部ベースを取り外し壁に寄せる…… 14
[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する……15
コンピューターを信号ケーブルでつなぐ…15
● 1台のコンピューターをつなぐ（デジタル接続 / アナログ接続）……15
● 2台のコンピューターをつなぐ（2系統入力）……15
● 接続方法について…… 16
コンピューターをオーディオケーブルでつなぐ…… 17
[準備4] ディスプレイとAV機器を接続する…… 18
AV機器を市販の変換ケーブルや変換アダプタを使ってつなぐ…… 18
[準備5] ヘッドフォンをつなぐ……19
[準備6] 電源コードを本機に接続する·20
電源を接続する…… 20
[準備7] ケーブルをまとめる…… 20
[準備8] 電源プラグのアースリード線を接地（アース接続）する…… 21
[準備9] 電源プラグをAC100V電源コンセントに差し込む…… 21
[準備10] 設置する…… 22
[準備11] 画面の角度の調節をする·· 22
[準備12] 画面調節…… 23
オートセットアップをする·（D-SUB入力のとき）…… 24
[準備13] Windows® セットアップ情報…… 25
[準備14] 省エネ設定をする…… 26
ECO設定の変更……26
ECOメーターの表示……26

機能

OSD機能…… 27
構成と使い方…… 27
OSD画面の構成…… 27
OSDの基本操作…… 28
OSD機能一覧…… 29
OSD機能補足説明…… 36
OSD機能による画面調節が必要となる場合…… 38
その他機能について…… 39

困ったとき

故障かな？と思ったら…… 40
本機を廃棄するには…… 45
保証とアフターサービス…… 46
個人情報の取り扱い…… 46

付録

再梱包するとき…… 47
市販のアームを取り付けるとき…… 48
用語解説…… 50
仕様…… 52
さくいん…… 53

ご使用の前に

何ができるの？

AV機器と接続

HDCP対応機能 →P18,P51

AV機器のHDMI出力端子と本機のHDMI端子またはDVI-D入力端子の間を市販の変換ケーブルで接続すると、AVタイミング信号を表示することができます。

コンポーネント信号対応 →P18,P50

AV機器のD出力端子やRCA出力端子と本機のミニD-SUB入力端子の間を市販の変換ケーブルや変換アダプタを使用して接続すると、AVタイミング信号を表示することができます。

省エネ効果が一目でわかる

ECO Professional機能 (ECO PROF.) →P26,P33

ECO設定にて使用時の消費電力を節電できるほか、ECOメーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示するなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

映画の暗いシーンを見やすく、デジタルカメラの画像をくっきり

DV MODE機能 (Dynamic Visual Mode) →P30,P37

スタンダード、IVテキスト、ムービー、シネマ、フォト、ゲーム、ルックアップ、カスタム設定から、お好みに応じた最適な画質モードをお選びいただけます。

簡単カラーマネジメント

EASYCOLOR!2機能 →付属の専用ソフト内の専用取扱説明書を参照

Windows Vista® では、付属のユーティリティディスク（CD）のEASYCOLOR!2ソフトを使って、画面表示色と付属の「ディスプレイ色調整用チャート」の写真の色イメージと簡単に合わせることができます。
EASYCOLOR!2のソフトインストール方法は付属の「簡単カラーマネジメントのおすすめ」をご覧ください。

画面をお好みの状態に調節/設定できる

OSD(On Screen Display)機能 →P27~P38

画面の明るさ、表示位置やサイズの調節、カラー設定、ECO PROF.機能設定などをOSD画面により調節することができます。
OSD機能そのものに関する操作（OSD表示時間、操作ロックなど）もできます。

2台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り換え表示可能

2系統入力 →P15

アナログ出力とデジタル出力のコンピューターを本機につなぎ、画面を切り換えて表示させることができます。

ブロックネックで画面の高さ調節できる

ブロックネックスタンド →P14

付属のブロックネックの装着数を加減することによって、お好みの画面の高さへ段階的に調節できます。

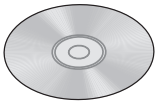
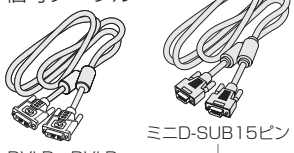
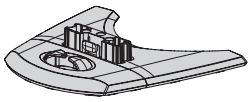
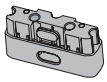
壁寄せ設置できる

分割方式ベーススタンド →P14

前後分割可能なベーススタンドの採用により、後部ベースを取り外すことで壁に寄せる設置ができ、机を広く使うことができます。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

セットアップガイド 	簡単カラーマネジメントのおすすめ 	色調整用チャート 	ユーティリティーディスク （取扱説明書、テストパターン、EASYCOLOR!2 ソフト） 
電源コード 	信号ケーブル 	オーディオケーブル 	ベーススタンド 	ブロックネック （高さ調節用　3個） 
保証書　（梱包箱に貼り付けてあります。）				

本書の見かた

本書の表記のしかた

お 願 い：取扱い上、特に守っていただきたい内容
お 知 ら せ：取扱い上、参考にしていただきたい内容
→PXX：参考にしていただきたいページ
Win Mac：Windows®とMacintosh両方に関わる内容
Win：Windows®のみに関わる内容
Mac：Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」→P3
言葉と意味で探す→「用語解説」→P50
もくじで探す→「もくじ」→P2
さくいんで探す→「さくいん」→P53

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

ENERGY STAR
当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

3R
本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準（2008年度版）を満たしています。
詳細は、Webサイト：www.pc3r.jp をご覧ください。

G
本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。
「J-Moss(JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイト：www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：　RDT223WM / RDT223WM(BK) /RDT223WM-S / RDT223WM-S(BK)

■本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
■本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
■本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

VISEO、Diamondcrysta、Diamondcrysta WIDE、DIATONEは、三菱電機株式会社の登録商標です。
Windowsは米国Microsoft社の米国等における登録商標です。
MacintoshはApple社の米国等における登録商標です。
HDMI およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC.の商標または登録商標です。
その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全上の注意

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行わない		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしない		必ずアースリード線を接地（アース）する
	必ず電源プラグをコンセントから抜く		高圧注意（本体後面に表示）
	絶対に水にぬらさない		絶対に触れない
	絶対に濡れた手で触れない		挟みこみに注意する

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

⚠警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない

火災・感電の原因になります。

裏ぶたをはずさない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

傾斜面や不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

電源コードを傷つけない

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。

キャビネットを破損したときは使わない

火災・感電の原因になります。

異物をいれない
特にお子さまにご注意

火災・感電の原因になります。

アース線を接続する

アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。
アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

風呂場や水のかかるところに置かない

水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。

アースリード線を挿入・接触しない

電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。

⚠警告

正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。
一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
本機に添付している電源コードは本機専用です。
安全のため他の機器には使用できません。

修理・改造をしない

けが・火災・感電の原因になります。

修理・改造禁止

ポリ袋で遊ばない

特にお子さまにご注意

本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。

禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因になります。

接触禁止

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。
万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。
手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。

警告

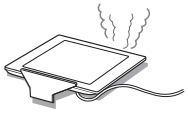
⚠注意

設置のときは次のことをお守りください。
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。
地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。

狭い所に置かない

設置禁止

あお向けや横倒し、さかさまにしない



禁止

直射日光や熱器具のそばに置かない

設置禁止

布などで通風孔をふさがない

禁止

車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。

禁止

屋外での使用禁止

屋外での使用禁止

本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

設置禁止

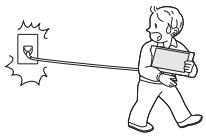
液晶パネルに衝撃を加えない

破損してけがや故障の原因になります。

禁止

接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の原因になります。
電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認の上、移動してください。



禁止

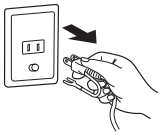
転倒・落下防止対策をおこなう。

転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、全ての地震に対しての効果を保証するものではありません。

設置台を補強する　丈夫なロープで製品を壁とつなぐ

電源プラグを持って抜く

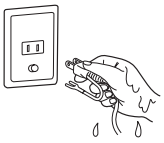
コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。



プラグを持つ

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

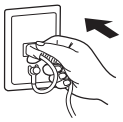


ぬれ手禁止

⚠注意

電源プラグを奥までさしこむ

しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。



しっかり差し込む

お手入れの際は電源プラグを抜く

感電の原因になります。
During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.

プラグを抜く

スタンドに手を挟まない

角度調節時、取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。

手の挟みこみに注意

液晶ディスプレイを廃棄する場合

液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。（ →P45 本機を廃棄するには）
環境や健康に悪影響をあたえる原因になります。

１年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。
内部掃除は販売店にご依頼ください。

内部掃除

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。

プラグを抜く

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

火災の原因になります。
1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。

ほこりを取る

使用上のお願い

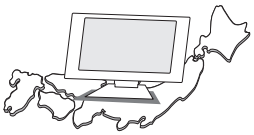
ディスプレイの上手な使い方

長時間同じ画面を表示しない

長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること（残像）がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。

日本国内専用です

For use in Japan only



この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

キャビネットのお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたリ、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。)また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。（水、エタノール、イソプロピルアルコール）
推奨以外の溶剤（酸、アルカリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。

上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器を影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機用は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。
  これは故障ではありません。
  本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

  お知らせ

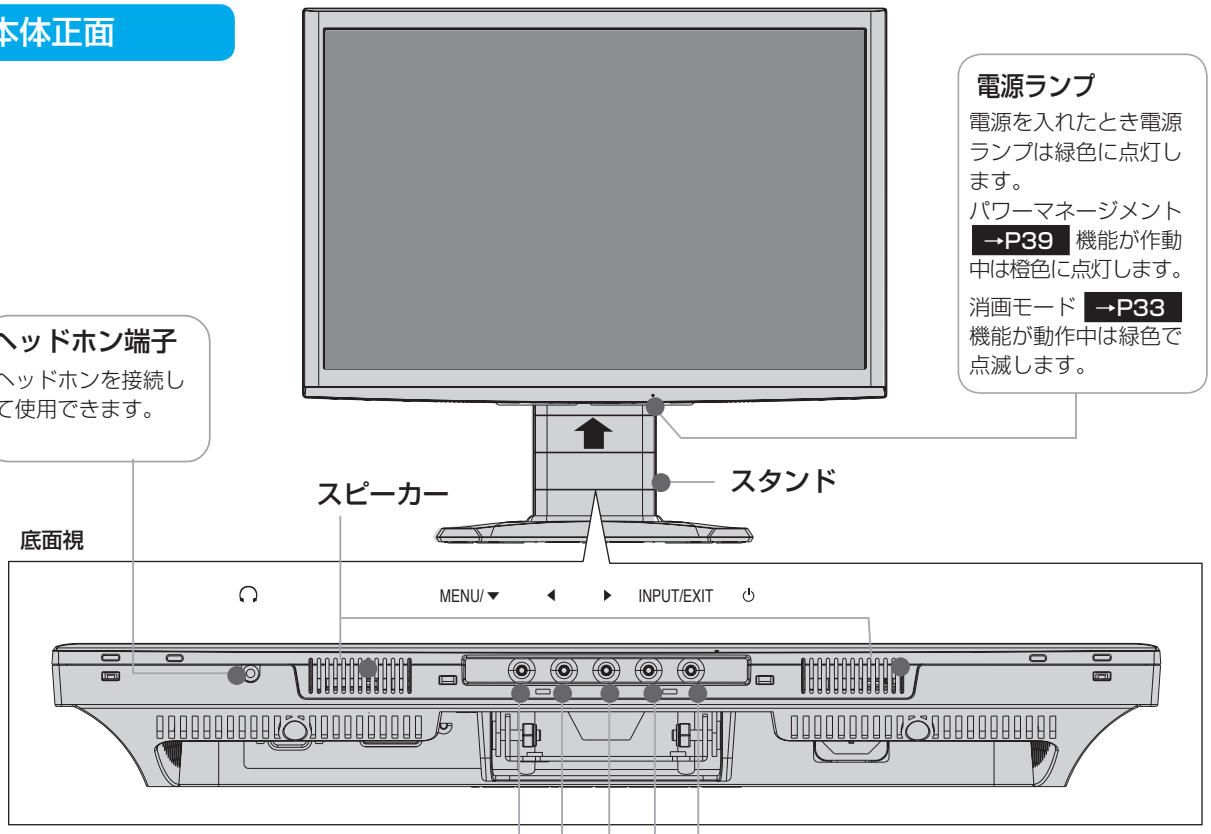
  有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、弊社で保証する表示可能なドット抜けの割合を示しています。
  「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(subpixel)」となります。
  つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。
  素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。
  そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。。

■ お客様または第三者が本機を誤使用、使用中に生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

本体正面



電源ランプ
電源を入れたとき電源ランプは緑色に点灯します。
パワーマネージメント →P39 機能が作動中は橙色に点灯します。
消画モード →P33 機能が動作中は緑色で点滅します。

ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続して使用できます。

MENU/▼ボタン
OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
縦方向の副項目メニューを選択します。

◀ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
設定したホットキー機能が動作します。
OSD画面が表示されているとき
左方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

▶ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
設定したホットキー機能が動作します。
OSD画面が表示されているとき
右方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

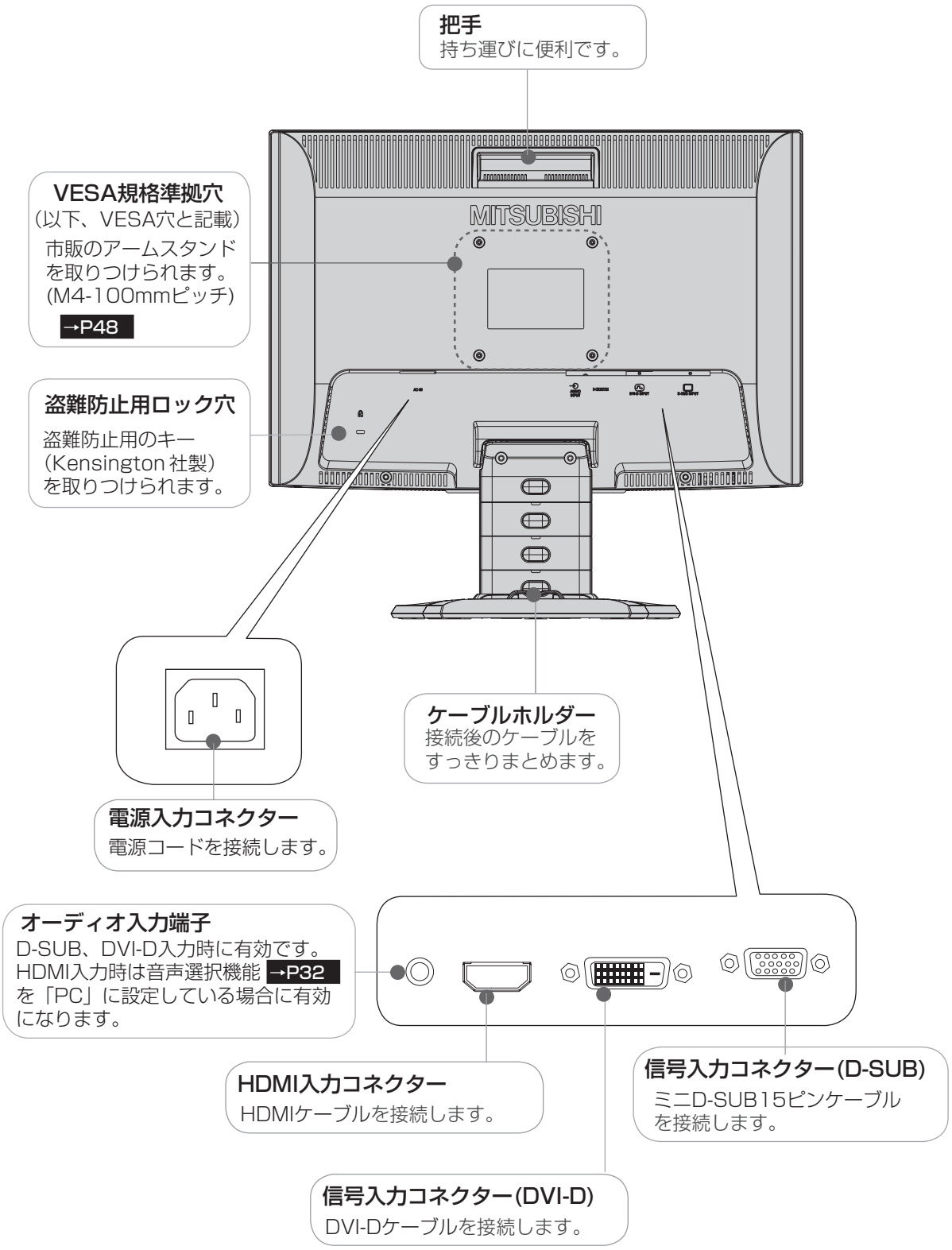
INPUT／EXITボタン
OSD画面が表示されていないとき
→D-SUB→DVI-D→HDMI の順で入力切替を行います。
OSD画面が表示されているとき
選択しているOSD項目メニューから抜け出る時に押します。
主項目メニューが選択されている状態の場合は、OSD画面が消えます。

電源スイッチ
電源をオン／オフするときに押します。

お 願 い
電源を短時間のうちにひんぱんにオン／オフしないでください。故障の原因となることがあります。

お知らせ
- 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」→P28 をご覧ください。
- ◀ボタンと▶ボタンにはDV MODE、音量、消音、ブライトネス、消画モード、オフタイマーの中からお好みの機能をホットキー（ボタンでの直接操作）として割り付けることができます。 →P34

本体背面


把手
持ち運びに便利です。
VESA規格準拠穴
（以下、VESA穴と記載）
市販のアームスタンドを取りつけられます。
(M4-100mmピッチ)
→P48
盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー（Kensington 社製）を取りつけられます。
ケーブルホルダー
接続後のケーブルをすっきりまとめます。
電源入力コネクター
電源コードを接続します。
オーディオ入力端子
D-SUB、DVI-D入力時に有効です。
HDMI入力時は音声選択機能 →P32 を「PC」に設定している場合に有効になります。
HDMI入力コネクター
HDMIケーブルを接続します。
信号入力コネクター(D-SUB)
ミニD-SUB15ピンケーブルを接続します。
信号入力コネクター(DVI-D)
DVI-Dケーブルを接続します。

使用の準備

使用するための流れ

[準備1] ディスプレイを組立てる →P13
ブロックネックをお好みの画面高さになる数量で重ねる
ブロックネックとベーススタンドを組み合わせる
完成したスタンドを本体に取り付ける

必要に応じて

[準備2] スタンドの後部ベースを取り外し壁に寄せる →P22

[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する →P15
コンピューターと信号ケーブルでつなぐ
1台のコンピューターをつなぐ（デジタル接続／アナログ接続）
2台のコンピューターをつなぐ（2系統入力）
コンピューターとオーディオケーブルでつなぐ

必要に応じて

[準備4] ディスプレイとAV機器を接続する →P18

[準備5] ヘッドホンをつなぐ →P19

[準備6] 電源コードを本機に接続する →P20

必要に応じて

[準備7] ケーブルをまとめる →P20

[準備8] 電源プラグのアースリード線を接地（アース接続）する →P21

[準備9] 電源プラグをAC100V電源コンセントに差し込む →P21

[準備10] 設置する →P22

必要に応じて

[準備11] 画面の角度を調節する →P22

[準備12] 画面調節 →P23

必要に応じて

[準備13] Windows® セットアップ情報 →P25

[準備14] 省エネ設定をする →P26

これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

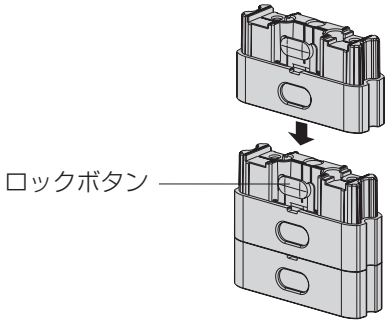
[準備1] ディスプレイを組立てる

スタンドを組立てる

ブロックネックをお好みの画面高さになる数量で重ねる

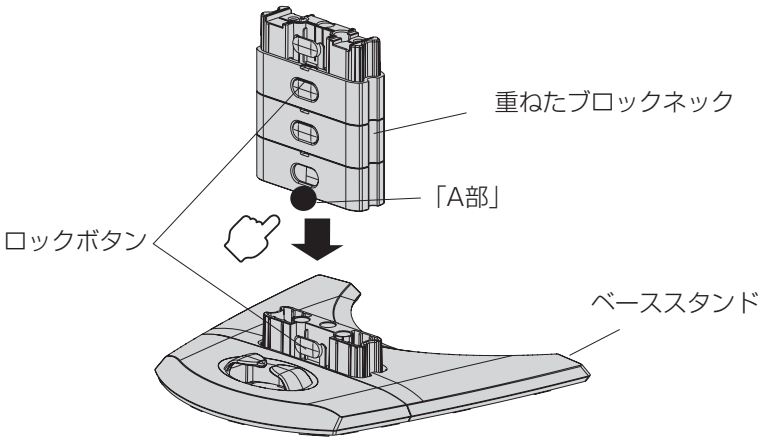
付属のブロックネックは、画面高さがお好みの位置になる数量をお使いください。
説明図は付属のブロックネック3個を全て使用した状態です。

付属の2段ブロックネックと1段ブロックネックを積み重ねます。
ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。



ブロックネックとベーススタンドを組み合わせる

付属のベーススタンドに重ねたブロックネックを取付けます。
ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

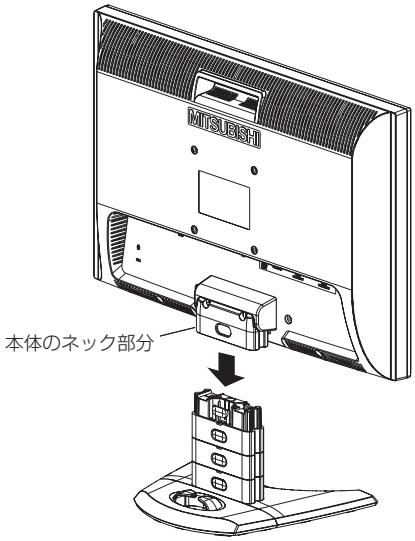


お知らせ

ブロックネックをベーススタンドへ差し込む時、ベーススタンドのロックボタンを軽く押すと挿入が容易になります。
ベースの溝に入りにくい場合は、A部を押してください。

完成したスタンドを本体に取り付ける

図のように水平な机の上に、ブロックネックとベーススタンドを組み合わせたベース部を置いてください。
本体に装着されているネック部分と最上段のブロックネックの凹凸部を重ね合わせて、ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。



⚠注意

ベーススタンドとブロックネックが確実に接合されていないと、本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。
取り付けた際に、ベーススタンドとブロックネックのロックボタンが正常にかみ合っていることを再確認してください。
スタンドを組立てる際に、指をはさまないように注意してください。。

語句説明

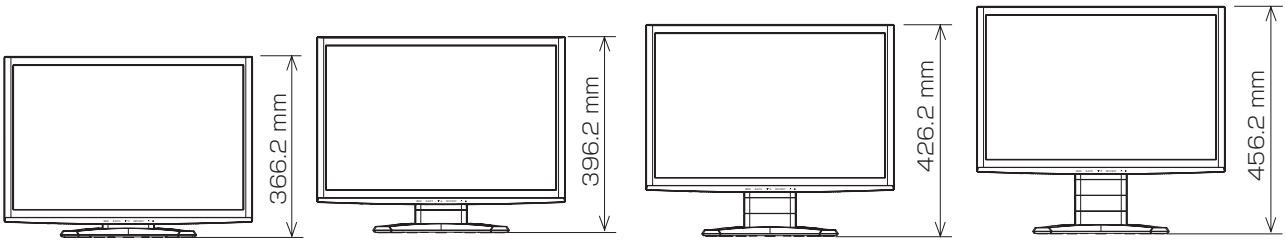
スタンドとは、付属のベーススタンドとブロックネックおよび本体のネック部分を全て組立てた状態を示します。

ブロックネックスタンドの特長

本機は、付属の分割式ベーススタンドとブロックネックの組み合わせ次第で、お好みに応じた様々な設置スタイルに対応します。

ブロックネック装着数を加減することで画面高さを段階的に調節できる

付属のブロックネックの装着数を加減することによって、お好みの画面の高さへ段階的に調節できます。



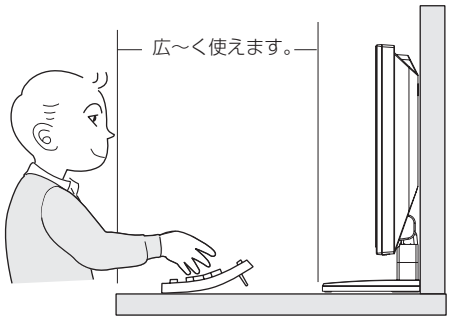
ブロックネック不使用の場合　ブロックネック１個の場合　ブロックネック2個の場合　ブロックネック3個の場合（最大）

後部ベースを外すと壁寄せ設置できる

付属のベーススタンドは前後を分割できます。
標準仕様のまま使用する以外に、後部ベースを取外すことで壁に寄せて設置することができます。
机の奥行きが狭い場合は、キーボードで狭くなった机を広く使用することができます。

⚠注意

後部ベースを外した場合、本機を壁から離さないでください。転倒する恐れがあります。けがや破損の原因になります。壁から離して使用する時は、後部ベースを必ず取付けてください。また、地震の時などでも安全にお使いいただくために、本体背面のVESA穴を利用して丈夫な紐で壁とつなぐなどの対策を施して転倒や落下しないようにしてください。



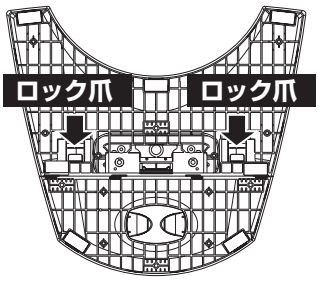
壁に寄せて設置した時

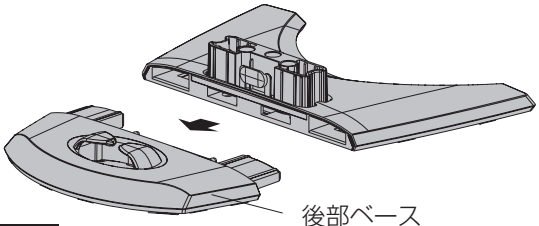
[準備2] スタンドの後部ベースを取り外し壁に寄せる

[必要に応じて]

後部ベーススタンドを分離する

1 図に示すベース裏面のロック爪を押してロックを解除し、後部ベースを引張って取り外します





お 願 い

- 取外した後部ベースは、大切に保管ください。

壁に寄せて設置する

2 転倒しないように壁にピッタリ寄せて設置する

[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する

コンピューターと信号ケーブルでつなぐ

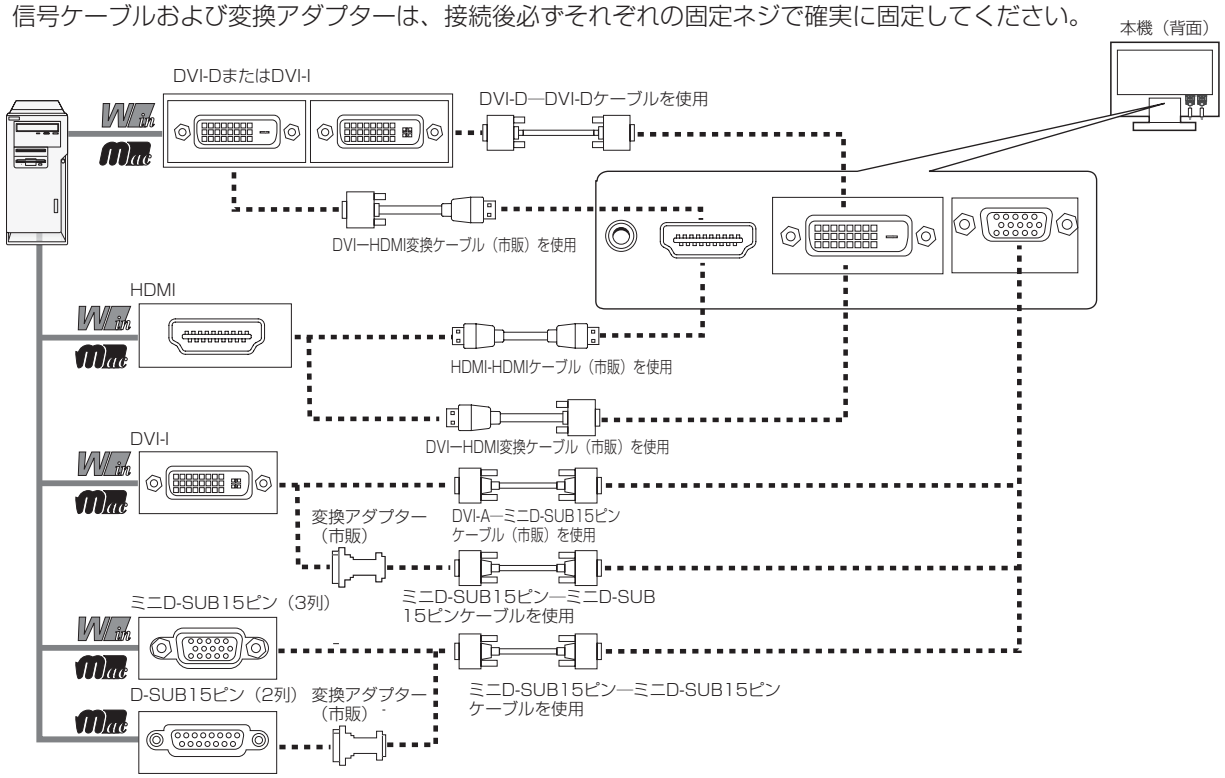
1台のコンピューターをつなぐ（デジタル接続／アナログ接続）

お 願 い

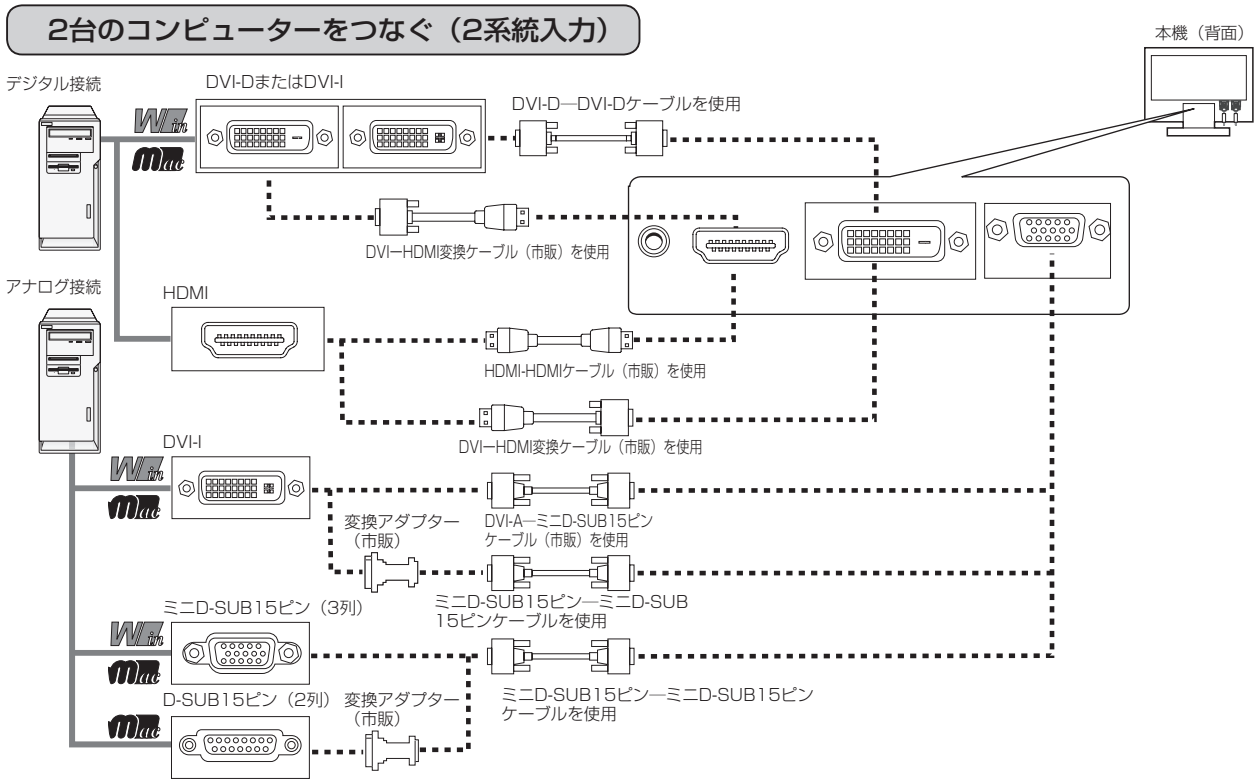
● 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

お 知 ら せ

● 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。



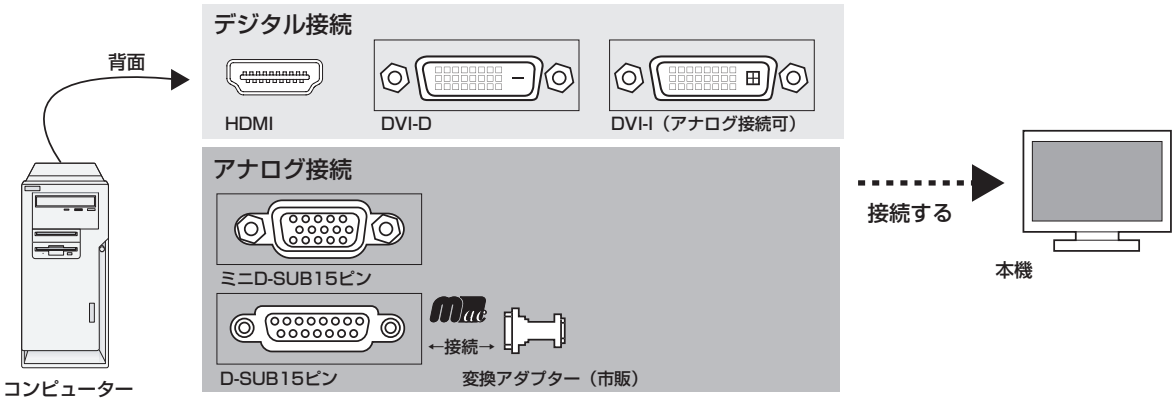
2台のコンピューターをつなぐ（2系統入力）



[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する（つづき）

接続方法について

本機の信号入力コネクターは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）とデジタル信号（DVI-D,HDMI）に対応しています。
また、2台のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクターに接続してください。
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



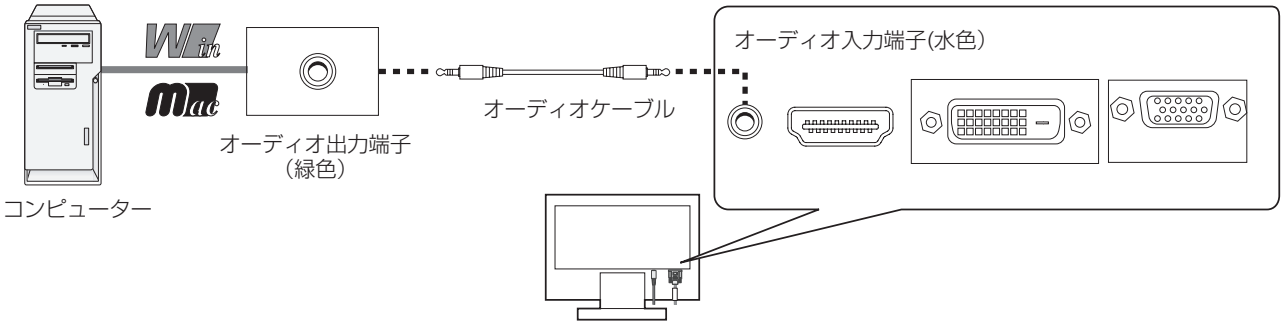
接続コネクターと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 / コンピューター側	ミニD-SUB15ピン（アナログ）	DVI-D（デジタル）	HDMI（デジタル）
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	DVI-A—ミニD-SUB15ピンケーブル（市販）で接続（アナログ接続）またはミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続
DVI-D（デジタル接続）	接続できません	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続
HDMI（デジタル接続）	接続できません	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続	HDMI—HDMIケーブル（市販）で接続
ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）（3列）	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続	接続できません。	接続できません。
D-SUB15ピン（アナログ接続）（2列）	ミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	接続できません。	接続できません。

DVI-I：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。どちらかの入力を接続するケーブルによって使い分けが可能
DVI-D：デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクターが異なります。
※ デジタル接続のみで2台のコンピューターを接続することはできません。
※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。

コンピューターをオーディオケーブルでつなぐ



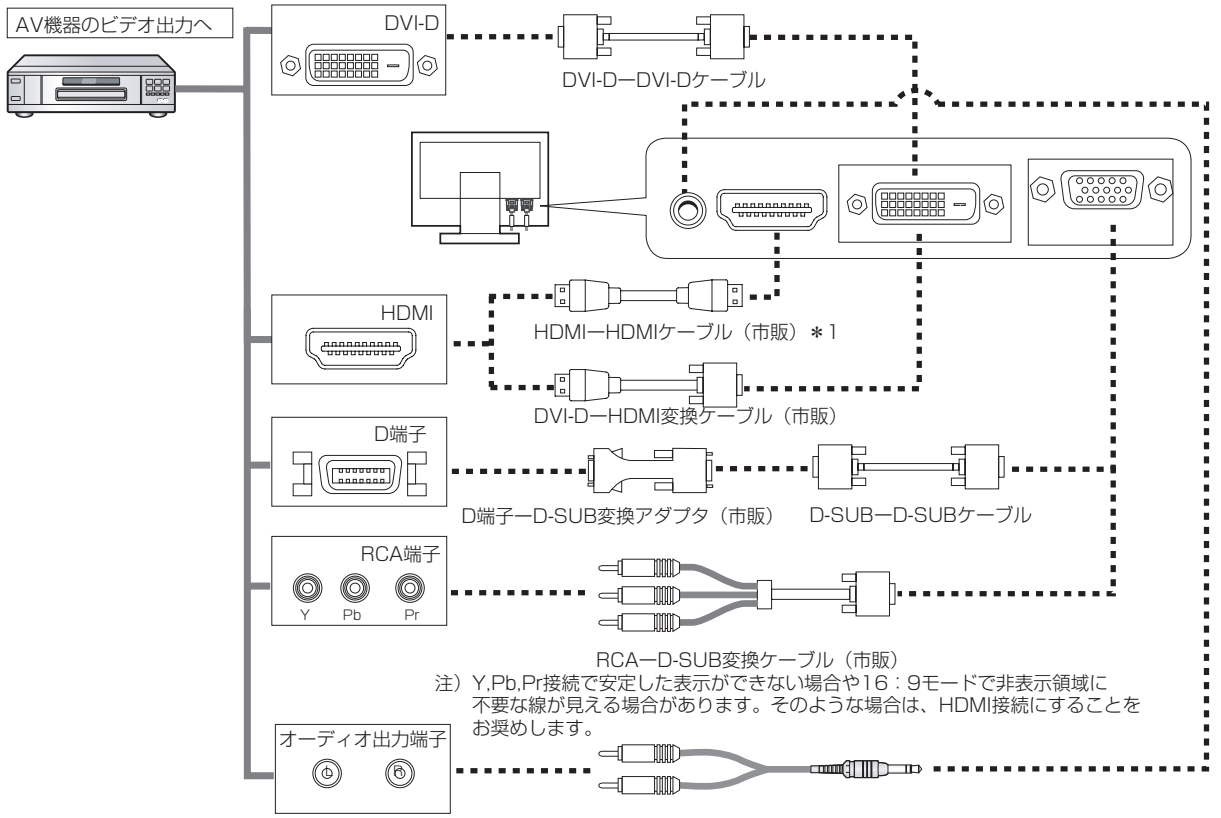
お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせて参照ください。
- オーディオケーブルは付属品あるいはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものをご使用ください。
  抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

[準備4] ディスプレイとAV機器を接続する [必要に応じて]

AV機器と市販の変換ケーブルや変換アダプタを使ってつなぐ

本機はAV機器などと接続して使用することができます。
詳しくは、AV機器などの取扱説明書を参照ください。



注）Y,Pb,Pr接続で安定した表示ができない場合や16：9モードで非表示領域に不要な線が見える場合があります。そのような場合は、HDMI接続にすることをお奨めします。

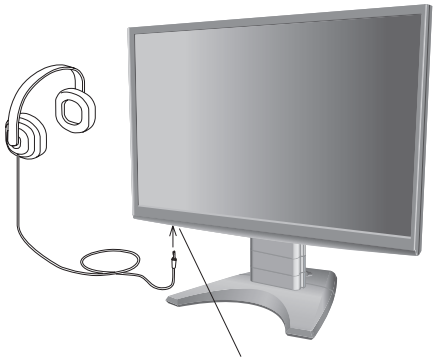
注）HDMI入力（＊1）の場合、本オーディオ接続は不要です。（HDMI信号に音声信号が含まれています。）
DVI-D入力またはD-SUB入力でAV機器と接続される場合、音声信号はAV機器のオーディオ出力端子と本機のオーディオ入力端子を接続してください。
（AV機器のHDMI端子出力を本機のDVI-D端子に接続しても音声信号は出力されません。）

お知らせ

- 一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。
  数秒（5～30秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  ・本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  ・入力自動切替機能をオフすると表示されやすくなる場合があります。
  ・一旦、信号ケーブルを抜き、接続し直してください。
  ・映像機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
- 本機のDVI-D入力端子にDVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）を使用してAV機器と接続された場合、AV機器によっては「正常な画面にならない」「映らない 」または、「表示解像度が制限される」などの症状が発生する場合があります。そのような時は、HDMI—HDMIケーブル（市販）を使用して接続してください。

[準備5] ヘッドホンをつなぐ [必要に応じて]

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。



ヘッドホン端子（底面）

⚠ 注意

- **ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。**
- **ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。**

お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、オーディオショップなどで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音は消えます。

[準備6] 電源コードを本機に接続する

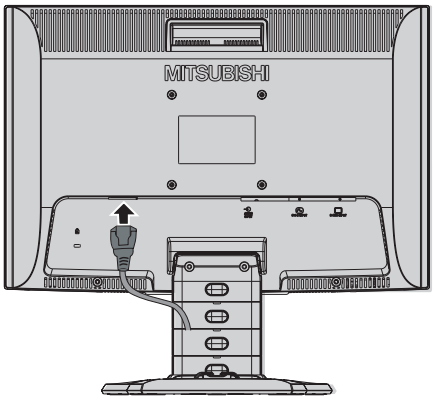
電源を接続する

お 願 い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。

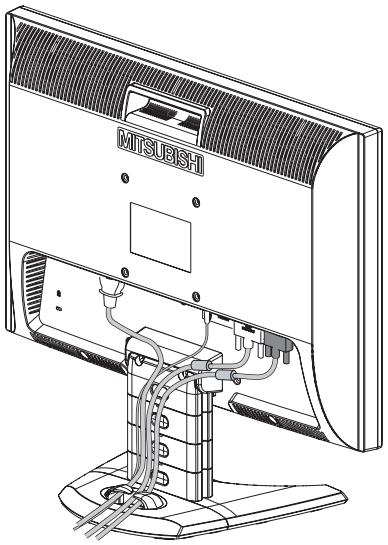


[準備7] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

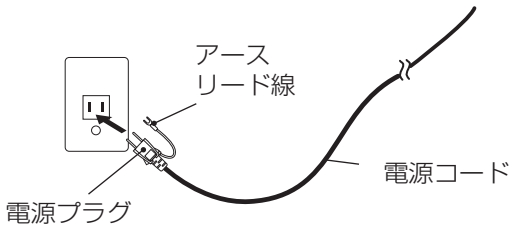
1 本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホルダーを使ってまとめる

お 願 い

- 画面を下方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホルダーでまとめてください。
  設置後、画面を上向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調整し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。
- ケーブルホルダー部へは、 細いケーブルから順番に入れて、電源コードを
  最後に挿入するとホルダーから外れにくくなります。



[準備8]
[準備9]
電源プラグのアースリード線を接地（アース接続）する
電源プラグをAV100V電源コンセントに差し込む



お 願 い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
  This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠ 警告

- **表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**
- **本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。**
- **電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。**
- **本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。**

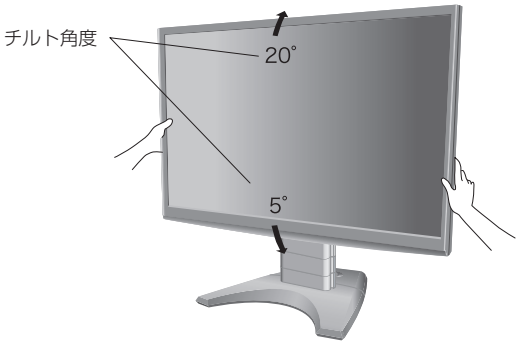
[準備10] 設置する

ディスプレイ画面が見やすく、傾いていない平らで安定している場所に設置します。

[準備11] 画面の角度を調節する [必要に応じて]

1 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように見やすい角度に調節します。



液晶画面を押さないようにしてください。

⚠ 注意

角度調節時に、手を挟まないように気を付けてください。
けがの原因となることがあります。

[準備12] 画面調節

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面の調節をおこなう

■ デジタル接続の場合

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ アナログ接続の場合

「オートセットアップをする（アナログ接続の場合のみ）」 →P24 の手順にしたがって画面を調節をしてください。
オートセットアップをおこなってもうまく表示されない場合は「画面調節（OSD機能）」→P29 をご覧ください。

テストパターン

付属のユーティリテーディスクには、テストパターンがはいっています。このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節するときに使用します。
ご使用方法については、ユーティリテーディスクの README をご覧ください。

画面調節メニューの左／右または下／上の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。 →P29

画面調節メニューの水平サイズまたは位相の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。 →P29

ブライトネス・コントラストメニューのコントラストで調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。 →P29

テストパターン表示画面

オートセットアップをする（D-SUB入力のとき）

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初にオートセットアップをおこないます。
その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→P29

お知らせ

- オートセットアップは適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD画面の基本操作」→P28 をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面全体にテストパターン →P23 またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 オートセットアップをおこなう

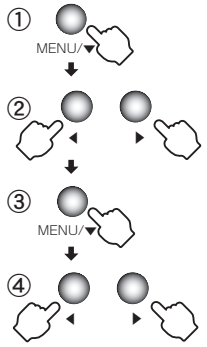
①「MENU」ボタンを押してOSD画面を呼び出す。

②「◀」「▶」ボタンで「調整」にカーソルを移動する。

③「▼」ボタンで「オートセットアップ」にカーソルを移動する。

④「◀」「▶」ボタンで「する」を選択する。

⑥「コントラスト」「左右位置」「上下位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。



お知らせ

オートセットアップ中は、「オートセットアップ実行中」のOSD画面が表示されます。

OSD画面-②

OSD画面-③

お 願 い

- DOSプロンプトのように文字のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節 →P31 でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合もオートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合も手動調節 →P31 でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。

[準備13] Windows® セットアップ情報 [必要に応じて]

Windows® 95/98/Me/2000/XP, Windows Vista® 用の設定ファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

[準備14] 省エネ設定をする [必要に応じて]

ECO設定の変更

1 ①「MENU」ボタンを押して、OSD画面を呼び出す。
②「◀」「▶」ボタンを押して、主項目メニューの「ECO PROF.」を選択する。
③「▼」ボタンを押して、副項目メニューの「ECO設定」を選択する。
④「◀」「▶」ボタンを押して、「大」「中」「小」→P33 の中から、お好みの設定をお選びください。

お知らせ

OSDの操作方法は、OSD画面の基本操作 →P28 を参照ください。

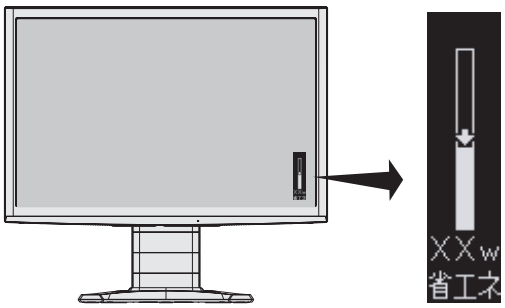
ECOメーターの表示

2 常に省エネ状態を確認できる「ECOメーター」を表示をしたい場合、「ECO PROF.」メニュー画面で
①「▼」ボタンを押して、副項目メニューの「ECOメーター設定」を選択する。
②「◀」「▶」ボタンを押して、「する」をお選びください。

ECOメーター表示設定画面が表示されますので、「◀」「▶」ボタンでお好みの透過率に設定してください。
このECOメーター設定メニューは、設定した後に自動的に「しない」に戻ります。

ECOメーターは現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。
表示値：消費電力へ影響する「ブライトネス」「CRO」「ECO設定」により値が変ります。

「INPUT/EXIT」ボタンを3回押し、OSD画面を消した後に、画面の右下にECOメーターが設定した透過率で表示されます。



機能

OSD機能

構成と使い方

本機には画面の調節が簡単にできるOSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節などをおこないます。

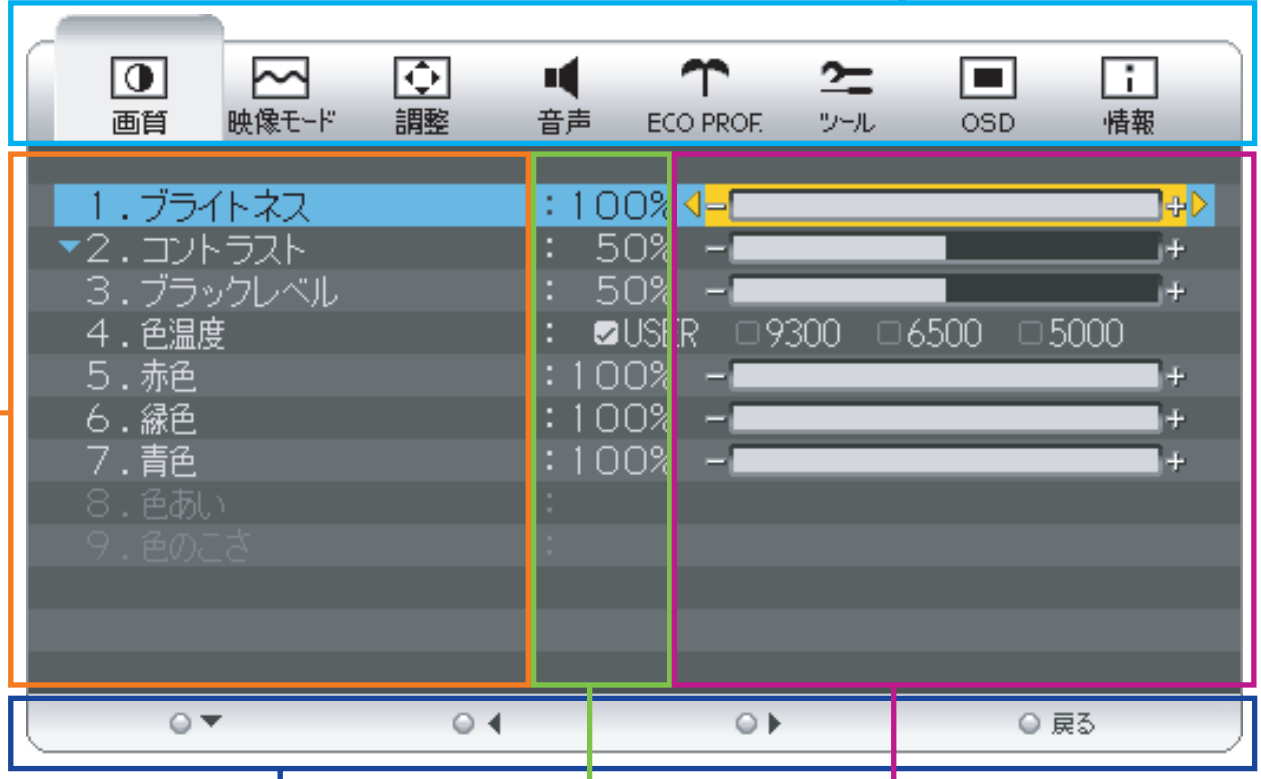
OSD画面の構成

OSD画面は、基本が選択画面-調節画面の2階層になっており、ECO PROF.やカラーのように選択メニュー項目の中に複数の調節項目を持っている場合には選択画面が調節画面の前に現れます。
OSD画面は、以下に示すような構成になっています。

副項目メニュー
選択項目が青い背景になります。
▼ ボタンで調節したい項目へ移動します。
選択された項目の調節バーは黄色い背景へ変ります。

お知らせ
●入力信号、DV MODEの設定 →P37 により、調節／設定できないメニューがあります。

主項目メニュー
選択項目が青い背景になります。
◀ ▶ボタンで調節したい項目へ移動します。



操作ボタンの配列（キーガイド）
そのOSD画面で必要な操作ボタンを表示しています。

調節バー
バーが伸び縮みします。調節状態の割合を感覚的にお知らせします。
両端の ◀ ▶ マークは調節可能な状態であることを示します。

調節割合
調節状態の割合を数値でお知らせします。

OSDの基本操作

OSDの操作は、以下に示すような構成になっています。

手順①
本機の電源を入れる。

↓

手順②
MENUボタンを押してOSDメニュー画面を表示する。

↓

手順③
「◀」「▶」ボタンで調節する項目の主項目メニューを選択する。

↓

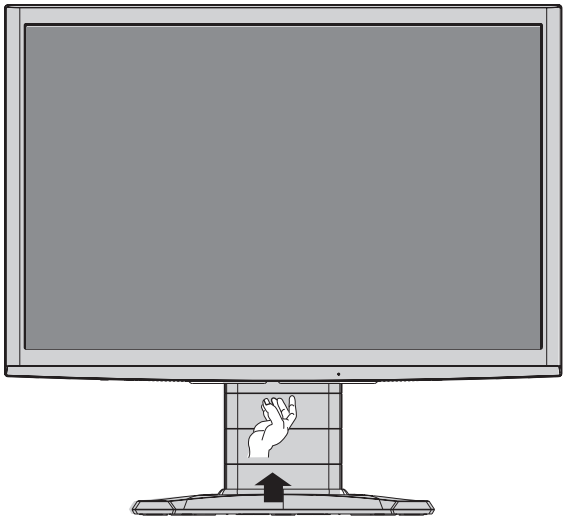
手順④
「▼」ボタンで調節する項目の副項目メニューを選択する。

↓

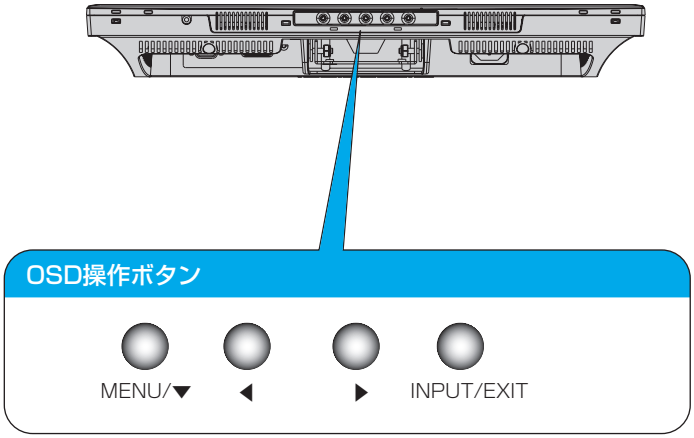
手順⑤
「◀」「▶」ボタンで調節バーによる調節もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる。

↓

手順⑥
「EXIT」ボタンを２回押して、OSDメニュー画面を消す。



下側よりボタンを操作する



お知らせ

- OSD画面が表示された後、操作が行われない場合は、OSD表示時間で設定された時間が経過すると自動的に消えます。

OSD機能一覧

主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
画質	ブライトネス	画面の明るさを調節します。
	コントラスト	コントラストを調節します。
	ブラックレベル	黒レベルを調節します。 画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。
	色温度	画面の色温度を選択します。 「USER」「9300」「6500」「5000」からお選びください。
	赤色	色温度で「USER」を選択したとき、赤色を調節します。
	緑色	色温度で「USER」を選択したとき、緑色を調節します。
	青色	色温度で「USER」を選択したとき、青色を調節します。
	色あい	色あいを調節します。 お知らせ ● DV MODEの「スタンダード」「カスタム」でダイナミックコントラスト が「する」に設定されている場合に調節できます。 ● DV MODEで「ムービー」「シネマ」「ルックアップ」を選択した場合に調節できます。 ● AV機器を接続した場合、アナログコンポーネント信号（YPbPr）入力、HDMI端子のYUV信号入力時に調節できます。
	色のこさ	色のこさを調節します。 お知らせ ● DV MODEの「スタンダード」「カスタム」でダイナミックコントラスト が「する」に設定されている場合に調節できます。 ● DV MODEで「ムービー」「シネマ」「ルックアップ」を選択した場合に調節できます。 ● AV機器を接続した場合、アナログコンポーネント信号（YPbPr）入力、HDMI端子のYUV信号入力時に調節できます。

OSD機能一覧

主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
映像モード	DV MODE	最適となる画像表示モードを選択します。 「スタンダード」「IVテキスト」「ムービー」「シネマ」「フォト」「ゲーム」「ルックアップ」「カスタム」からお選びください。 →P37
	DV MODE リセット	お選びいただいているDV MODE項目のブライトネス、色温度、色あい、色のこさ、シャープネス、オーバードライブ、CRO、ダイナミックコントラスト、ガンマを工場出荷状態に戻します。
	画面サイズ	自動的に表示画面を拡大します。 「フル」「アスペクト」「オート」「16:9モード」「サイドカット」からお選びください。 →P36 お知らせ ● PCワイドタイミング時は、「フル」のみになります。 ● 「オート」はHDMI入力時のみ設定できます。
	シャープネス	文字や映像のキレを調節します。
	オーバードライブ	オーバードライブ機能の「しない」「する」を選択します。 動きの速い映像でも、ぼやけを抑えます。
	CRO	CRO（コントラストレシオオプティマイザー）機能の「しない」「する」を選択します。 映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御し、最適化します。 画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。
	ダイナミックコントラスト	ダイナミックコントラスト機能の「しない」「する」を選択します。 画面全体が暗い映像においてコントラスト感を改善して鮮明な映像にします。 →P51
	ガンマ	ガンマ補正のタイプを選択します。 「スタンダード」「タイプA」「タイプB」「タイプC」「タイプD」「タイプE」からお好みの画像となるようにお選びください。 お知らせ ● DV MODEの「カスタム」の場合のみ有効です。
	黒白伸張	入力映像に対して、黒白伸張を行います。 「自動」「PCモード」「AVモード」からお選びください。 AVモード　:ゲーム機器やDVDプレイヤーの映像を視聴する場合に選択してください。 PCモード　:コンピューターの映像を視聴する場合に選択してください。 お知らせ ● デジタル入力（DVI-D、HDMI）の場合のみ有効です。 ● DVI-D入力の場合、「自動」は選択できません。 ● HDMI入力の場合、「自動」「PCモード」「AVモード」全て選択できます。 ● 映像が黒浮きしているような場合は「AVモード」を選択ください。 ● 映像の黒領域・白領域の階調がつぶれているような場合は「PCモード」を選択ください。

OSD機能一覧

主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
調整	オートセットアップ	オートセットアップ機能を実行します。 →P24
	水平位置	画面位置を左右方向に調節します。
	垂直位置	画面位置を上下方向に調節します。
	水平サイズ	表示画面幅を調整します。 画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。
	位相	画面に横方向のノイズがあったり、文字のにじみ、輪郭のぼやけがある場合に調節します。

お知らせ ● 調整項目メニューは、全てD-SUBコネクターへのPC入力の場合のみ有効です。
YPbPr信号入力の場合はスキップされます。

OSD機能一覧

主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
音声	音量	音量を調節します。
	消音	消音機能の「しない」「する」を選択します。 電源オフ、消画モードで消音機能は解除されます。
	音声選択	「自動」か「PC」から選択します。 「自動」:入力画面に応じて自動的にオーディオ入力を切換えます。 ● D-SUB、DVD-D入力時:オーディオ入力端子が選択されます。 ● HDMI入力時:HDMIオーディオが選択されます。 「PC」:オーディオ入力端子が選択されます。 （HDMI入力画面表示時にオーディオ入力端子からの音声を、お聴きになりたい場合にご使用ください。）

OSD機能一覧

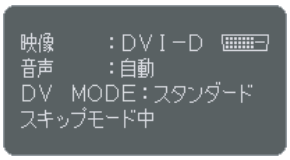
ECO Professional機能とは省エネに配慮した以下の機能の総称です。

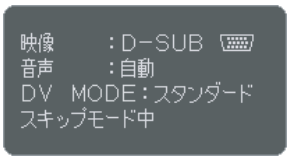
主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
ECO PROF.	オフタイマー	電源自動オフ時間を「30分」「60分」「90分」「120分」の中から選択設定します。 お知らせ ● 消画モード時も有効です。
	消画モード	消画モードの「しない」「する」を設定をします。 お休み時など、画面を消してオーディオ機能のみをお使いになりたい場合にこの設定を行ってください。 （画面が消えるため、節電効果があります。） 消画モード時、電源ランプは緑色で点滅します。 「◀」「▶」ボタンで音量を調節できます。 「MENU/▼」か「INPUT/EXIT」ボタンのいずれかを押すと消画モードから抜けて入力信号があれば画面が表示されます。 電源オフでも消画モードは解除されます。
	電源自動オフ	本機のパワーマネージメント機能動作後、およそ30分で電源を自動的にオフすることができます。 電源スイッチの切り忘れ対策になります。 お知らせ ● 本機能動作後は、電源オフされているため再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。
	ECO設定	「オフ」「大」「中」「小」モードの中から、お好みの省エネモードを設定します。 大: 画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約24W（＊）削減します。 中: 画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約20W（＊）削減します。 小: 消費電力を一律約7W削減します。 お知らせ ●「オン」時には、画面の明るさが低減します。 ● （＊）マーク説明： 画面全体の平均輝度が75%以上の状態においてECO設定「オフ」にした状態との比較値です。（当社測定結果による）
	ECOメーター設定	ECOメーターの表示透過率を設定します。 「する」を選択すると、表示透過率の設定OSDが表示されますので、お好みの状態に調節してください。 設定後、メニューの表示は「しない」に戻ります。 ECOメーターをオフ（非表示状態）するには、「◀」で「オフ:0%」位置まで動かしてください。 お知らせ ●ECOメーターは、現在の省エネ電力値を画面右下にリアルタイムに表示します。 ●省エネ電力値：ECO設定の動作時や画面の明るさ（ブライトネス）を暗くした時に得られる電力削減値です。
	省エネ電力量リセット	「する」を選択するとECO PROF. OSD画面の下部に表示している累算した省エネ電力量と省エネ率表示値がゼロにリセットされます。 お知らせ ● 省エネ電力量と省エネ率表示値は5年以上経過すると表示色が赤色になり積算が停止する場合があります。積算の上限に達していますのでリセットしてください。 ● 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率表示値がゼロでない場合があります。その場合は、リセットすることをお奨めします。
	省エネ電力量（表示のみ）	省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率をOSD画面上に表示します。 省エネ電力量：ご使用を始めてから（またはリセットした時点）現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピュータで設定したパワーマネージメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「＊＊＊.＊＊kWh」で 表示します。 なお、本機の電源スイッチオフの時間は含まれません。 省エネ率　：省エネ電力量の削減効果を「＊%」で表示します。 表示される値が大きいほど、省エネ電力量の削減効果が大きいことを意味します。

OSD機能一覧

主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
ツール	入力自動切換	信号が入力されているコネクタを自動的に選択する機能です。 「しない」「する」を設定できます。 複数の入力信号がある場合に「INPUT/EXIT」ボタンを押さなくても、現在表示中の入力信号が切れると自動的に信号が入力している画面に切換わります。 **お知らせ** ● 選択されているコネクタは、「情報」のOSD画面で確認できます。 ● 本機能はD-SUBおよびDVI入力間のみ対応しています。 D-SUB/DVI-D入力とHDMI入力間で切換える場合は、メインOSD画面が表示されていない時に「INPUT/EXIT」ボタンを押して切換えてください。
	ホットキー設定	メインOSD画面がでていない時、「◀」ボタンと「▶」ボタンはダイレクト操作のホットキーとして機能します。 「◀」ボタンと「▶」ボタンに「DV MODE」「音量」「消音」「ブライトネス」「消画モード」「オフタイマー」の機能を割り付ける機能です。 それぞれのボタンにお好みの機能を割り付けてください。 消画モード時は強制的に「音量」が割り付けられます。 **お知らせ** ● 出荷時設定は◀ボタン：DV MODE、▶ボタン：音量です。
	操作ロック	OSDの誤操作を防止するため、操作禁止を設定／解除します。 →P37
	DDC/CI	DDC/CI通信機能の「しない」「する」を選択します。 **お知らせ** ● 「しない」を選択すると、外部からの制御ができなくなります。 ● 工場出荷設定は「する」です。
	スキップモード	「する」を選択すると、入力を強制的に無効にします。 設定した入力は、「INPUT/EXIT」ボタンを押しても切換わらずにスキップされます。 ご使用にならない入力はスキップ設定することで、入力切換をよりスムーズに行うことができます。 **お知らせ** ● 表示している入力をスキップ設定することはできません。 ● パワーマネジメント機能 →P39 がスリープ状態（LEDが橙色）の時に「INPUT/EXIT」ボタンを2秒以上長押しすると、全入力スキップモードは解除されます。
	オールリセット	「画質」「映像モード」「調整」「音声」「ECO PROF.」「ツール」「OSD」の各設定を出荷状態に戻します。 **お知らせ** ● ECO PROF.の省エネ電力量と省エネ率はリセットされません。 リセットしたい場合は、ECO PROF.の省エネ電力量リセットメニューで行ってください。 ● 言語切換、消音、EDID選択 →P39 はリセットされません。

お知らせ スキップモードで「する」を選択すると、次のようなインフォメーションOSD画面が「INPUT/EXIT」ボタンで入力切換えを行った時や電源スイッチをオン／オフした場合に画面右上に表示されます。





OSD機能一覧

主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
OSD	OSD水平位置	OSD画面の左右表示を調節します。
	OSD垂直位置	OSD画面の上下表示を調節します。
	OSD表示時間	OSD表示時間（10～120秒）を調節します。
	言語切換	OSD画面の表示言語を「日本語」と「ENGLISH」から選択できます。

情報メニューでは、ご使用のモニター情報（モデル名とシリアルナンバー）および入力信号情報をお知らせします。

OSD機能補足説明

OSD機能の補足説明をします。

画面サイズ

「フル」「アスペクト」「オート」「16:9モード」「サイドカット」をお選びいただけます。

画面サイズ	フル	アスペクト	16:9モード	サイドカット	オート
PCタイミング	○	○	×	×	×
PCワイドタイミング	○	×	×	×	×
AV SDタイミング (480p)	○	○ (4:3用)	○ (スクイーズ用)	○ (スクイーズ用)	○(HDMI)
AV HDタイミング (1080p/720p/1080i)	○	×	○	○	×

[○:選択可　×:選択不可]

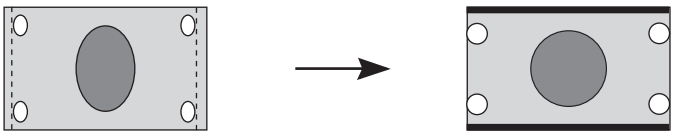
フル　:表示を画面全体に拡大します。

アスペクト　:縦横比を変えずに画面を拡大します。
画面の左右に黒帯ができます。SXGAタイミングはリアル表示（ドットバイドット）になります。

お知らせ
- ●一部の解像度では画面全域に拡大されません。
- ●入力信号によっては、縦または横方向に十分に拡大されないことがあります。

オート　:AV SDタイミングの4:3とスクイーズの映像信号を自動で判断し、真円の映像が真円に近づきます。（HDMI入力時のみ）

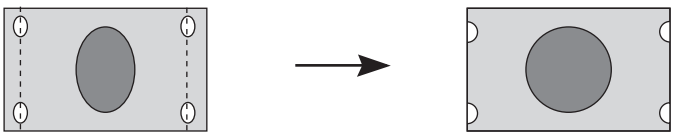
16:9モード　:AV SDタイミングのスクイーズおよびAV HDタイミングの映像信号をフル表示すると縦長になるため、画面の上下両サイドを縮小し、真円の映像が真円に近づきます。



AV SDタイミングのスクイーズおよびAV HDタイミングの映像信号

16:9モード画面

サイドカット　:AV SDタイミングのスクイーズおよびAV HDタイミングの映像信号をフル表示すると縦長になるため、画面の左右両サイドをカットし、画面を水平方向に拡大することで真円の映像が真円に近づきます。



AV SDタイミングのスクイーズおよびAV HDタイミングの映像信号

サイドカット画面

OSD機能補足説明

DV MODE

「スタンダード」「IVテキスト」「ムービー」「シネマ」「フォト」「ゲーム」「ルックアップ」「カスタム」の8つのモードから、お選びいただけます。

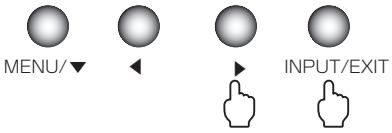
お知らせ

最適となる画像表示モードにするためブライトネス、色温度、色あい、色のこさ、シャープネス、オーバードライブ、CRO、ダイナミックコントラスト、ガンマなどは選択したモード毎に個別に値を持っておりモードによって値が変っていたり調整/設定ができない副項目メニューがあります。

スタンダード :標準の設定です。
IVテキスト :全体の明るさ、コントラストを抑え目が疲れにくく、通常のワープロや表計算ソフトに適した設定です。
ムービー :動きの速い映像でも、ぼやけ感をおさえてブレの少ないクッキリとした映像を提供する動画に適した設定です。
シネマ :暗いシーンの多い映画を見るのに適した設定です。
フォト :自然画／静止画に適した設定です。
簡単カラーマネジメント（EASYCLOR!2） →P3 をご使用になられた場合は、このモードになります。
ゲーム :中間調にメリハリをつけ、より迫力のある画像を提供するゲームに適した設定です。
ルックアップ :寝ころんで見上げる姿勢でも奥行き感を阻害しない映画を見るのに適した設定です。
カスタム :お好みの設定ができます。

操作ロック

誤って調節してしまうことを防ぐためのOSDメニュー操作禁止を設定、解除できます。
操作ロックが選択された時に「▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、OSDメニュー操作は「操作ロック中」が表示されます。

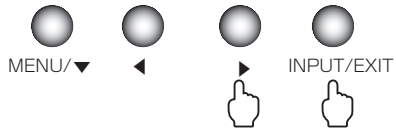


お知らせ

操作ロックはメインOSD操作のみがロックされます。
電源オン/オフボタン、入力切換、「◀」「▶」ボタンのホットキーに割り付けた機能は有効です。

ロック解除

「MENU/▼」ボタンを押して、「操作ロック中」OSDが表示中に再び「▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、操作ロックは解除されます。



OSD機能による画面の調節が必要になる場合

工場プリセットタイミング

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、オートセットアップ →P24 をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Macintosh
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Macintosh
720 × 350	31.5kHz	70.1Hz	
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 960	60.0kHz	60.0Hz	
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1440 × 900	55.9kHz	60.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	推奨信号タイミング
720 x 480	31.47kHz	59.94Hz	480p
1920 x 1080 (インターレース)	33.75kHz	60.0Hz	1080i
1280 x 720	45.0kHz	60.0Hz	720p
1920 x 1080	67.5kHz	60.0Hz	1080p

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。記憶させたい信号を入力し、オートセットアップ →P24 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5～82.3kHz、垂直周波数56～76Hz対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピュータからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。

お知らせ

- 本機は解像度1680×1050以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1680×1050より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

● 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

● 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA: No Touch Auto Adjust）

（800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。

NTAA実行中画面

お知らせ

● アナログ入力信号（ミニD-SUBピン）のみ有効です。

EDID選択機能

この機能は、DVI-D接続でコンピュータの推奨解像度が表示できない時のみ使用します。
信号ケーブルを外し、画面に「NO SIGNAL」が表示されている時に「▶」ボタンを5秒以上長押しすると右の画面が表示されます。
EDID設定を「AV」から「PC」に「◀」「▶」ボタンで選択し、「MENU/▼」ボタンを押すと設定が変更され、画面が「NO SIGNAL」に戻りますので、信号ケーブルを再接続し、コンピューターを再起動してください。

EDID選択画面

AV：AVタイミング(480p,1080i,720p,1080p)信号をDVI接続で表示する場合
PC：AVタイミング信号をDVI接続で表示しない場合

お知らせ

● 本機能はDVI-D（Digital）入力に対してのみ有効です。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

● この機能はVESA DPM対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	46W	緑色点灯
スリープモード時	1W以下	橙色点灯

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

● キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

故障かな？と思ったら

表示されないときは…

このようなときは、チェックしてください。

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P46
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P20, 21
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	電源ランプが緑色に点灯している場合	「MENU」ボタンを押してOSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P28
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P46
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。 「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P29
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P15, 38
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P39
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P15
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P15
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
		電源自動オフを設定していませんか？ その場合は、再度電源ボタンを押してください。	P33
		入力選択が合っていない可能性があります。 INPUT/EXITボタンを押してLEDが緑に点灯している間にINPUT/EXITボタンを押して入力切換えをおこなってください。または、OSD画面により「入力自動切換え」を「する」に設定してください。	P10, 34

※ 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

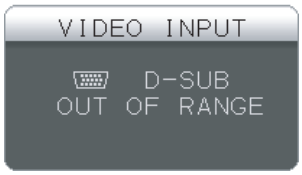
表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
突然画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合※	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P46
表示状態がおかしい	**画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある**	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P9
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、 液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、 液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
	線の太さなどがぼやける	推奨タイミング（1680x1050）以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。PCの出力タイミング1680x1050に設定してください。 または、OSD画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。 アナログ接続の場合は、「オートセットアップ」を実行すると軽減できる場合があります。	P38
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8, 50
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P22, 52
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
	画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので故障ではありません。 電源を切るか変化する画面を表示していれば像は徐々に薄れていきます。	P8, 50
	表示が横長に伸びている	推奨タイミング（1680x1050）以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。PCの出力タイミング1680x1050に設定してください。 または、OSD画面により「画面サイズ」を「アスペクト」に設定してください。	P30, 38

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P28
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。 「画質」の「USER」を選択し、お好みで色の割合を調節してください。	
		● OSD 画面が正常に表示され、色を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P15
	画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P28
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P47
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。 「調整」の「位相」を選択し調節してください。	P31
		● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P15, 38

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	原　因	対　処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された※1 	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P15
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	電源ランプが橙色に点灯している場合は、コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P39
画面に「OUT OF RANGE」が表示された※2 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P38
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P38

※ 1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

案内画面／注意画面が表示されたら…

その他

症　状	原　因	対　処	参照
解像度や色数が変更ができない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。または、DVI-D 入力であればEDID 選択 →P39 を切換えてください。	P10, 39
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。	Windows®セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P25
	Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、または Windows®以外の OS　をご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	
スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	正しく接続されているか確認ください。	
	ヘッドホンがつながっている場合スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P19
	音量が最小になっている。または消音機能が働いている可能性があります。	OSDメニューの「音声: 🔈 」で音量を調節、または消音メニューで「しない」を選択してください。	P32
	出荷時設定のオーディオ入力端子は、D-SUB、DVI-D入力時に有効です。	コンピューターのパワーマネジメント機能 →P39 が作動している場合は解除してください。 また、HDMI入力時にオーディオ入力端子を有効にするには音声選択機能 →P32 を「PC」に設定してください。	P32, 39
AV機器の映像が何も映らない！または、画面に「NO GIGNAL」が表示された	一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒（5～30秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ●本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ●一旦、信号ケーブルを抜き、接続し直してください。 ●映像機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	
	入力コネクターが選択されていない可能性があります。	INPUT/EXITボタンを3秒間隔程度で3回押して映像がでないか確認してください。	P10, 34

本機を廃棄するには？（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい製品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/env.html

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6107 www.pc-eco.jp	TEL 03-3455-6106 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ”PCリサイクルシール”を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ； www.pc-eco.jp 画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。	**ご注意：** 法人（事業者）のお客様で、ご購入頂いた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
  保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
  日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
  This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技術相談窓口（携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可）	修理相談窓口（携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可）
フリーダイヤル　0120-71-3322	フリーダイヤル　0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～ 12:00　午後1:00 ～ 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱液晶ディスプレイ**
- **形名：RDT223WM/ RDT223WM（BK）**
  RDT223WM-S/ RDT223WM-S（BK）
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
  （PCおよびグラフィックボード（メーカー，形名）、解像度、入力信号（アナログ，デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

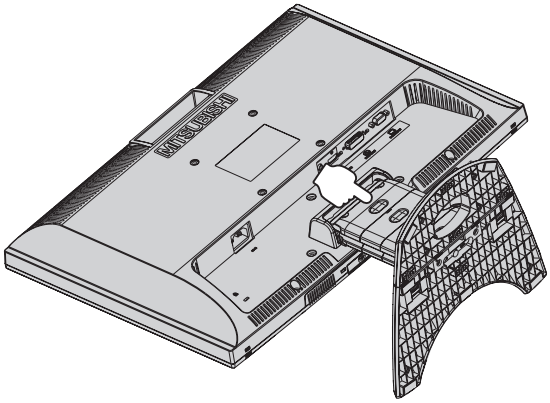
- 無料出張サービス規定
  この製品をお買上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット(現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
  三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問合せ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問合せ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
     ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
     ② 法令等の定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

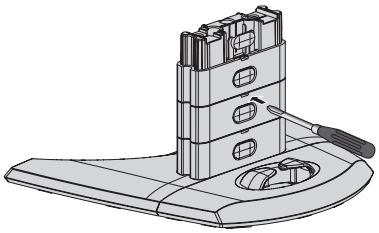
再梱包をするとき

再梱包の際は次の手順でスタンドを取り外してください。
水平な机の上に本体表示部が下になるように置いてください。
図のようにブロックネック背面の最上部ロックボタンを指で押しながらスタンドを分割してください。
取外したスタンドは、ベーススタンド部とブロックネック部に分割して再梱包してください。



お知らせ

容易に引き抜けない場合は、ブロッネック背面の凹穴にマイナスドライバーを差し込んで分離させてください。



⚠ 注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無いことを確認し表示部を傷つけないように注意してください。
つめを外す際に指をはさまないように注意してください。

お 願 い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷つけないようにしてください。

市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取りつけることができます。

お 願 い

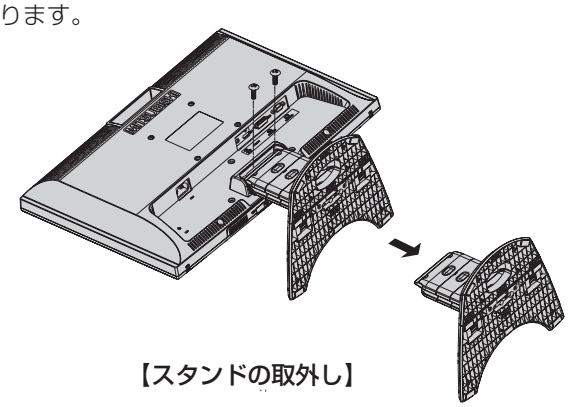
● アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約4.6kgです。）

お知らせ

● 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

■ アームを取りつける際は、下記要領で取りつけてください。

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外してください。
その後、本体側のスタンドネックを取りつけている2本のネジを取り外し、スタンドを引き抜いてください。

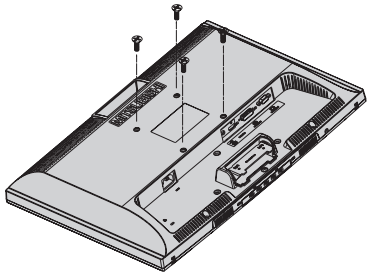


【スタンドの取外し】

お 願 い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷つけないように下向きに置いて行ってください。

2 アームを取付ける前にVESA穴の4本の化粧用の皿ネジを取り外してください。



【VESA穴ネジの取外し】

お 願 い

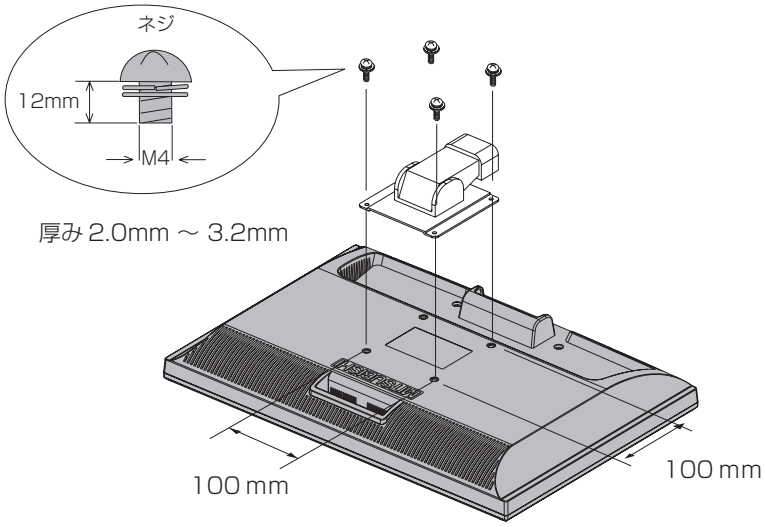
● スタンドを取りつける場合は、逆の手順でおこないます。
その際は必ずスタンド取りつけに使用していたネジを使ってください。
仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。

● ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。
なお、スタンドの取りつけはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

3 下記のようにアームを取り付けてください。

取付可能アーム：
取付部厚み 2.0mm ～ 3.2mm
VESA 規格準拠 100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。（ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137N・cm が適切な締付トルクです。）



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

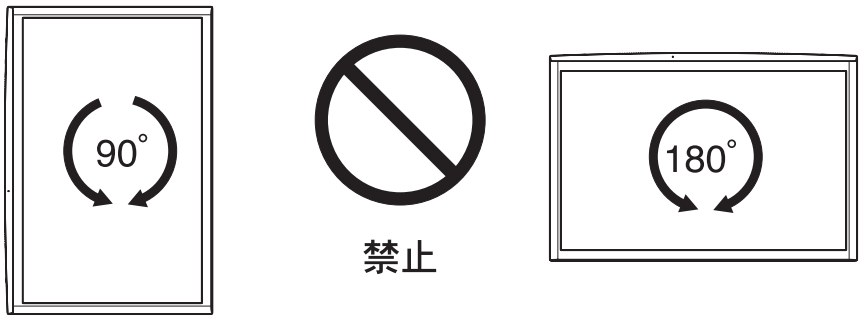
⚠ 注　意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、２人以上で取りつけ作業をおこなってください。
  落下してけがの原因となります。
- 取りつけ作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
  また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談ねがいます。
  万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取りつけはお客様の責任においておこなってください。
  万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取りつける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
  それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
  緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ（長さ 12-14mm）
- アームを取り付けてご利用される場合でも、90˚ 回転や 180˚ 回転した状態でご使用しないでください。
  内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

2系統入力　P15
2台のコンピューターを接続するための入力端子を2つ準備していることを表します。

DDC 2B 規格（Display Data Channel）　P39
VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格（Display Data Channel / Command Interface）　P52
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM（Display Power Management）　P39
VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DVI-D端子（Digital Visual Interface-Digital）　P15, P16
デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子（Digital Visual Interface-Integrated）　P15, P16
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。どちらかの入力を接続するケーブルあるいは変換アダプターによって使い分けが可能となります。

Plug&Play　P39
Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

VESA 規格（Video Electronics Standards Association）　P48, P52
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相　P31
アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

国際エネルギースタープログラム　P4, P52
デスクトップコンピューターの消費電力を節減するために、米国の環境保護局（EPA：Environmental Protection Agency）が推し進めているプログラムのことです。

応答速度　P52
表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

輝度　P52
単位面積あたりを表示する明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比　P52
白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

コンポーネント信号（YPbPr信号）　P18
AV機器のD端子、RCA端子出力から、映像信号を輝度信号（Y）と色系統信号（赤系（Pb）/青系（Pr））に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。

残像　P8, P41
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection system)　P52
デジタル信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）　P11, P18
DVD機器などと接続できるAV用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

水平周波数／垂直周波数　P38, P52
画面に表示される画像データは、走査線と呼ばれる線が集まって構成されています。
水平周波数：1 秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数 31.5kHz の場合、1 秒間に水平線を 31,500 回表示するということです。
垂直周波数：1 秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が 60Hz の場合、1 秒間に画面を 60 回表示書き換えているということです。

ダイナミックコントラスト　P30
映画に多い暗がりのシーンでは細部の描写がつぶれてしまいます。　それを防ぐために黒階調をバランスよく自動調節で強調し、階調再現性を向上させる技術です。

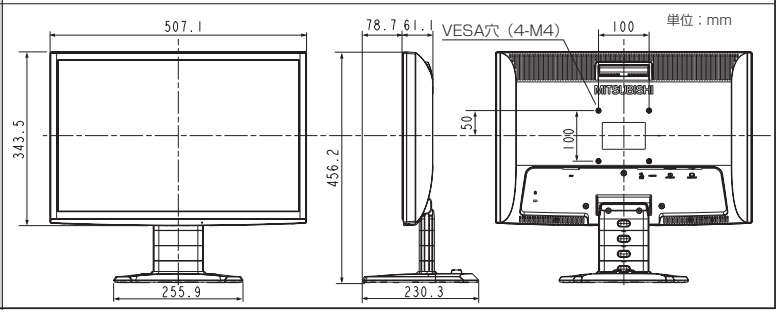
チルト角度　P22, P52
ディスプレイ画面を前後に動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／ NTAA（No Touch Auto Adjust）P39
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能　P39
コンピューターを使用しない時に本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度　P38, P52
一般的には「解像度」と呼ばれています。1 画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

仕様

形名			RDT223WM / RDT223WM (BK)	RDT223WM-S / RDT223WM-S (BK)
液晶パネル ※1	サイズ（表示サイズ）		22型（55.8cm）	
	液晶方式		TN 表面処理：ﾉﾝｸﾞﾚｱ（反射防止）	TN 表面処理：グレア（光沢）
	有効表示領域		473.7× 296.1mm	
	表示画素数		1680 × 1050	
	画素ピッチ		0.282mm	
	表示色		約1677 万色	
	視野角		左右170°、上下170°（コントラスト比10）	
	輝度（標準値）		300cd/m^2	
	コントラスト比		2000：1（CRO非動作時 1000:1）	
	応答速度		2ms(GTG)	
PC入力	水平周波数		31.5 ～ 82.3kHz	
	垂直周波数		56 ～ 76Hz	
	ビデオ信号		デジタルRGB、アナログRGB	
	同期信号		TMDS、セパレート同期信号（TTL）	
	信号入力コネクター		デジタル入力：DVI-D(HDCP対応)、HDMI アナログ入力：ミニD-SUB15 ピン	
ビデオ入力 ※2			HDMI、YPbPr（ミニD-SUB15 ピン入力）	
音声入出力	入力コネクター		Φ3.5mmステレオミニジャック	
	スピーカー		1W+1W（ステレオ）	
	ヘッドフォン		Φ3.5mmステレオミニジャック	
適合規格等 ※3	安全		UL60950-1、c-UL	
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン	
	省エネルギー基準		国際エネルギースタープログラム	
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）	
	プラグ&プレイ		VESA DDC2B	
	その他		PCグリーンラベル(2008年度版)、グリーン購入法、J-Moss、DDC/CI、Windows® XP、Windows Vista® Premium	
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃	
	湿度		30 ～ 80%（結露のないこと）	
電源	電源入力		AC100-240V 50/60Hz	
	消費電力	標準	46W	
		省エネモード	スリープモード時：1W 以下、オフモード時：1W以下	
	電源入力コネクター		3P IEC タイプ	
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約5kg	
		スタンドなし	約4.6kg	
梱包状態（質量/寸法）			約6.2kg ／ 572（W）× 415（H）× 143（D）mm	
チルト角度 / スイーベル角度 /ブロック高さ調節			上20°、下5°／機能無し／ブロックネックx3（30mm／個）	
外形寸法				

お知らせ
※1 本機は、解像度1680x1050以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりする ことがあります。
※2 本機は、AV機器の信号タイミング（480p、1080i、720p、1080p）に対応しています。480iには非対応です。
※3 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

さくいん

英数字

CRO(ｺﾝﾄﾗｽﾄﾚｼｵｵﾌﾟﾃｨﾏｲｻﾞｰ) 30
DDC 2B 規格 39,50
DDC CI 34
DDC CI 規格 49,50
DPM 39,50
DVI-D 端子 15,16,50
DVI-I 端子 15,16,50
DVI-D ー DVI-D ケーブル 4,15,16
DV MODE 30,37
DV MODE リセット 30
ECO PROF. 26,33
ECO 設定 26,33
ECO メーター設定 26,33
Macintosh 4,16
MENU/▼ボタン 10,24,26,28
NTAA（No Touch Auto Adjust） 39,51
NO SIGNAL 43,44
OSD 画面の構成 27
OSD 基本操作 28
OSD 機能一覧 ..... 29 ～ 35
OSD 表示時間 35
OSD 水平位置 35
OSD 垂直位置 35
OUT OF RANGE 43
Plug & Play 39,50
PC タイミング 38
HDCP 51
INPUT/EXIT ボタン 10,24,28
VESA 規格 39,48,50
Windows® セットアップ情報 25
2 系統入力 15,50
＜ボタン 10,24,26,28
＞ボタン 10,24,26,28

あ

アフターサービス 46
アースリード線 5,21
安全のために必ずお守りください ..... 5 ～ 7
赤色 29
青色 29
位相 31,50
色温度 29
色あい 29
色のこさ 29
オーディオケーブル 3,17
オートセットアップをする 24
オートセットアップ 27
オールリセット 34
オーバードライブ 30,37
オフタイマー 33
応答速度 50,52
音量 32
音声選択 32

か

外形寸法 52
回収 45
解像度 38,51,52
画面サイズ 30,36
画面に何も映らない 40
画素ピッチ 52
ガンマ 30
角度を調節する 22
拡大・スムージングファイン機能 39
簡易表示機能 39
各部のはたらき 10,11
暗い／表示しない 34
言語切替 35
ケーブルホルダー 11,20
コントラスト 27
コントラスト比 50,52
コネクターとケーブルの対応表 16
工場プリセットタイミング 38
黒点／輝点 9,41
国際ｴﾈﾙｷﾞｰｽﾀｰﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 4,50,52
輝度 50,52
個人情報の取り扱い 46
困ったとき ..... 40～46
故障かな？と思ったら… ..... 40～46

さ

再梱包するとき 47
残像 8,41,50
使用上のお願い 8,9
仕様 52
信号入力コネクター 11,52
信号ケーブル 3,15,16
信号ケーブルを接続する 15,16
使用環境条件 52
修理相談窓口 46
視野角 52
市販のアームの取りつけかた 48
垂直周波数 38,51,52
水平位置 31
垂直位置 31
水平周波数 38,51,52
水平サイズ 31
推奨信号タイミング 38
シャープネス 30
白黒伸長 30
消費電力 39,52
省エネ電力量リセット 33
消音 32
消画モード 33
自動入力切換 34
質量 52
スタンド 10,13,14,47,48
スピーカーから音が出ない！ 44
スリープモード 33
スキップモード 34
接続 15,16,17
接地（アース） 19
設置する 22
セットアップガイド 3
操作ロック 29,31
操作ボタン 10

た

ダイナミックコントラスト 30
チルト角度 21,51,52
ちらつく 42
テストパターン 23
適合規格等 52
電源入力コネクター 11,18,52
電源ランプ 10,39,40
電源コード 4,18,14,26
電源スイッチ 10
電源を入れる 23
電源を接続する 20
電源電圧 21,52
電源プラグ 21
電源容量 20
盗難防止用ロック穴 11
同期信号 38,52
廃棄する 45
パワーマネジメント機能 45
バックライト 40
表示色 42
表示画素数 38,51,52
表示がおかしい 35
表示されない 34
ビデオ信号 52
付属品 4
ブロックネック 4,13,14,52
付録 ..... 47～52
ブライトネス 29
ブラックレベル 29
ヘッドホン端子 10,19
ヘッドホンをつなぐ 19
ベーススタンド 4,13,14,47
ホットキー設定 34
本体正面 10
本体正面 10
変換アダプター 15,16
保証とアフターサービス 46
保証書 4,46

な～わ

ミニ D-SUB15 ピン 4,11,15,16
緑色 29
ユーザーメモリー機能 38
有効表示領域 52
用語解説 50,51
リサイクル 45
ロック解除 37

三菱電機株式会社

本社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2丁目7番3号（東京ビル）

AW-P0485B